

## 多面的機能高度発揮総合利用システム開発事業(拡充)

### 1. 趣 旨

森林の多面的な機能を持続的に発揮させるためには、従来の皆伐施業に加え長期育成循環施業等の非皆伐施業による森林整備を促進することが課題であり、非皆伐施業においても効率的な作業をなし得るシステムの導入を図ることが必要となっている。

また、16年度は台風により大規模な風倒木被害が発生し、早期に跡地の復旧造林を進めるべく風倒木処理を実施しているが、現状では長期間を要する見込みである。

このため、効率的な作業システムの核となるよう、高性能林業機械等の非皆伐施業に対応しかつ環境負荷低減に配慮したものへの改良、アタッチメント式汎用作業機械の開発及び被害木処理作業を効率的に実施できる遠隔操作型林業機械の開発を行う。

### 2. 事業内容

- (1) 小型軽量化等、森林環境への負荷低減に配慮した機能を持つ高性能林業機械等の改良
- (2) アタッチメント式汎用作業機械の開発
- (3) 効率的な遠隔操作型林業機械の開発

### 3. 事業実施主体

(社) 林業機械化協会

### 4. 補助率

1/2

### 5. 事業実施期間

平成16年度～平成19年度

### 6. 平成18年度概算決定額

68,102千円(59,872千円)

(林野庁研究・保全課)